

## 「プロフェッショナルたる前に人間たれ」

お葬式の仕事は母方から代々継がれており、幼いころから身近なものでしたが、大学から関西に出て都会の便利さを体験すると、香川に帰る選択肢は正直まったく頭にありませんでした。

家業の影響もあって、冠婚葬祭業で就職活動を行っていたところ「堂島ホテル」にご縁があり、ホテル・ブライダル業界へ進むことにしました。

そこで出会ったのが、「プロフェッショナルたる前に人間たれ」という言葉。どんなに技術が一流だろうが、どんなに才能が秀でていようが、人として一流じゃないと評価されない。これは、後の転職先であるケーキ屋さん、また現在でも変わらず自身の軸となる大切なスタンスです。

理念だけでなく、所作や立ち居振る舞い、言葉遣いなど社会人としての心構えを学ぶことができたホテル時代の経験は、今の仕事に本当に活かしているので、やっけてよかったなと感じています。

一見、葬儀とは相反する仕事に見えますが、最終的にお客様に満足していた、ほっとした気持ちで帰っていただくという点では同じ。

初めは家業の葬儀を手伝うことを考えていなかったものの、就職先や転職先で学んだ経験をぜひ地元の方々にお返ししたい。その気持ちを持って2012年に香川に帰ってきました。最初は何かから覚えていったらいいのかさえ分からなかったですが、経験を重ねていくうちに葬儀に対する意識が変わってきました。

葬儀って暗い、悲しい、怖い…みたいなイメージを持ってらっしゃる方が多いと思います。しかし本当にそうなのでしょうか。

故人様の今まで生きてこられた人生や功績、道のりすべてを受け入れた上で、「お疲れさま」と前向きな気持ちでお見送りするのが残された方たちのお役目だと思います。

大切な方とお別れはそう簡単に気持ちの整理をつけることはできませんが、そんなご遺族様の心の準備をお手伝いするのが、私たち葬儀社の役目です。

親身に寄り添い、少しでも温かくなるような、ほっとするような、会館を出る時には少しは気持ちが前向きになっているようなご葬儀をお手伝いいたします。

これは私たちのプライドでもあります。香川県ではリバーホール河井のサービスが一番でないといけないと思っています。

「葬儀をするならリバーホール河井で」とたくさんの方に思っていていただき、多くの幸せをお届けできるように一番の葬儀社を目指して努力して参ります。

The mission of kawaiusousaisha

# 世界に一つだけのお別れの刻を 手作りいたします。

## 水田 潤

1984年12月6日生まれ

三本松にて2人兄弟の長男として生まれる。

大学時代に香川を離れて神戸の大学に進学。

そのまま関西でホテル業界へ就職し、上司らの誘いを機にケーキ屋さんへ転職。

# Jun Mizuta

その後、当時母が代表を勤めていた家業を弟と共にサポートする事になり香川に戻る。休日は書道やゴルフなどで充実しており、書道作品を投稿するInstagramのフォロワー数は約3,000人。(アカウント名:@junmizuta)他にも数々の趣味を持つ。